



令和6年9月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

伊豆東岸定置網における令和6年下半期の漁海況予測

当場では令和6年下半期（7～12月）の相模湾の海況及び伊豆東岸定置網における主要魚種の大きさ・来遊量を神奈川県水産技術センターと協議して予測しました（右表）。

黒潮は大蛇行流路が継続する見通しで、解消の兆候はみられません。そのため沿岸水温は「平年並」～「高め」で推移し、暖水が波及した場合には「極めて高め」となることがないと予測しました。

また、主要魚種の来遊量は、マアジは令和4年頃から漁獲量が増加傾向にあり、上半期の漁獲量も多かったことから、前年並に好調と予測しました。一方、その他の魚種については、資源状態が悪かったり、近年漁獲量が低調または減少傾向で推移していることから、前年を下回る、または低調な平年並と予測しました。

海況	黒潮	A型基調で推移する。 蛇行北上部は概ね伊豆諸島海域の西側に位置する。
	水温	「平年並」～「高め」で推移し、暖水波及時には「極めて高め」となることがある。
マアジ	大きさ	0歳魚は下半期後半には15～20cmに成長し、漁獲の主体となる。1歳魚以上は20cm以上になる。
	来遊量	漁獲量の多かった前年並
マサバ	大きさ	尾叉長35cm以上主体。
	来遊量	ゴマサバに混じる程度
ゴマサバ	大きさ	尾叉長25cm前後及び30cm以上主体。
	来遊量	前年を下回る
マイワシ	大きさ	0歳魚主体。
	来遊量	低調な平年並
カタクチイワシ	大きさ	成魚及び未成魚。
	来遊量	低調な平年並
ブリ	大きさ	銘柄わかし・いなだ主体。
	来遊量	平年を下回る低水準
スルメイカ	来遊量	低調な前年並

漁業士デジタル化推進会議 研鑽会

8月23日、令和6年度第6回研鑽会が沼津市内浦で開催されました。大沼会長（有）大浦水産の養殖生簀にて水温や溶存酸素の観測ブイを視察。その後、内浦漁協にて参加者の漁業経営や共通の課題について意見交換が行われました。

当日は、沼津からまき網の、中部からは船曳き網の漁業士の方が参加されましたが、「課題解決のためにデジタル化でできること」を様々な漁業の立場から検討されていました。

※東部地区内で本活動に興味・関心のある方がいらっしゃいましたら、伊豆分場へご連絡ください。



↑写真 大沼会長から説明を受ける参加者

解説：静岡県漁業士デジタル化推進会議は、県内各地の漁業現場のデジタル化を推進・普及するため令和5年7月に新設されました。

実施できなかった県民の日イベント

8月9日に、県民の日特別企画として、申込制イベントの「ところてん作り体験」と「ムラサキウニの解剖体験」、申込不要の「タッチプール」と「展示室夜間公開」の実施を予定していましたが、8日に南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発令されたため、参加者の安全を第一に考え、イベントを中止しました。申込みいただいた参加者には中止のお詫びとして、イベント用教材のさらし天草とウニ殻の標本をお送りしました。

本件を受けて当場は、今後のイベント開催における安全性の確保に向け、災害が発生した際の対応方針の見直し等を進めます。



↑写真 イベント用教材
さらし天草とウニ殻の標本

9月の予定 ●キンメダイ親魚採捕調査（南伊豆・稲取）●キンメダイ人工授精試験●イセエビ予測検討・発表（下田、南伊豆）●イカ類資源評価協議会（19-20日）●イセエビ測定●潜水調査（白浜、菖蒲沢、稲取）

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：<https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>

当場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。